

平成22年5月12日

問い合わせ先
社団法人公共建築協会
鈴木
TEL 03-3523-0383

第12回公共建築賞優秀賞の決定について

社団法人 公共建築協会（会長 照井 進一）が、国土交通省及び全国知事会、全国市長会、全国町村会の後援をえて実施している「公共建築賞」の第一次審査が終了し、公共建築賞優秀賞がこのほど決定しました。

公共建築賞は、昭和63年から1年おきに行われています。今回、第12回を迎え昨年9月募集要項を発表し、全国から123点の応募がありました。第一次審査は、全国9地区の地区審査委員会によって12月から行われ、現地調査を含む審査の結果、31点の建築物が選ばれ、公共建築賞審査委員会（委員長鈴木博之氏）に第二次審査の対象として推薦されました。

5月11日に行われた公共建築賞審査委員会において、これらの建築物に優秀賞（公共建築協会会長表彰）を授与することが決定されました。優秀賞の伝達式は各地区ごとに行われます。

第二次審査では、優秀賞受賞建築物の中から公共建築賞（国土交通大臣表彰）として、行政施設部門、文化施設部門及び生活施設部門の3部門ごとにそれぞれ最も優れた建築物各1点が、また、公共建築賞・特別賞（国土交通省大臣官房官庁営繕部長表彰）として、特に優れた特徴をもつ建築物2点内外が選ばれます。

今後のスケジュールは、優秀賞受賞建築物から今回の審査委員会で選ばれた建築物の現地調査を行ったうえで次回審査委員会において受賞建築物を選定し、10月上旬に発表する予定としています。

なお、公共建築賞は、優れた公共建築を表彰することにより、公共建築の総合的水準の向上に寄与することを目的とするもので、ひろく公共建築のあるべき姿についての意識を啓発し、より優れた公共建築を生み出すことに役立たせようとするものです。数ある建築賞のなかで、特徴として公共建築を対象としていることのほかに、評価の基準として、設計施工が優れているということのみでなく、地域社会への貢献や施設の管理保全といった視点からも評価を行うこととしており、そのため竣工後3年以上経過したものを対象としています。

第12回公共建築賞審査委員会委員（敬称略）

委員長	鈴木 博之	青山学院大学教授
委員	北川原 温	東京芸術大学教授、北川原温建築都市研究所主宰
(50音順)	見城美枝子	青森大学教授・エッセイスト
	白幡洋三郎	国際日本文化研究センター教授
	末菅 辰雄	東京都財務局建築保全部技術管理担当部長
	鈴木 千輝	国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課長
	照井 進一	公共建築協会会長